

平成23年度3月期
第31期 第2四半期決算説明会
ご説明資料



平成22年11月
寺崎電気産業株式会社

目次

■ 会社の概要	P3
■ 事業概要	P4
■ 当社を表すキーワード	P6
■ 世界造船業界の動向	P7
■ 第2四半期連結決算のポイント	P10
■ 第2四半期連結決算概要	P11
■ 平成23年3月期業績予想	P18
■ 経営ビジョン	P21

本資料お取扱い上のご注意

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するにあたっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

会社概要

- 社 名 : 寺崎電気産業株式会社
TERASAKI ELECTRIC CO., LTD.
- 本 社 : 大阪市阿倍野区阪南町7-2-10
- 代 表 者 : 代表取締役社長 藤田 正一
- 創 業 : 1923年10月
- 設 立 : 1980年 4月
- 資 本 金 : 12億3,664万円
- 従 業 員 数 : 1,854人(2010年9月末現在 連結)
- 事 業 内 容 : 電気機械器具の製造販売
- 連結子会社 : 国内5社、海外10社
- 株 式 状 況 : 発行済み株式数 13,030,000 株
(9月末現在) 株主数 748 名
 单元株数 100 株
- 決算期 : 3月末日

事業概要

システム事業



「船舶用」

- 配電制御システム
- 機関監視制御システム
- 陸電供給システム(AMP)
- 船員教育シミュレータ等



「産業用」

- 配電制御システム
- コージェネレーションシステム
- 医療用機器 等



機器(ブレーカ)事業



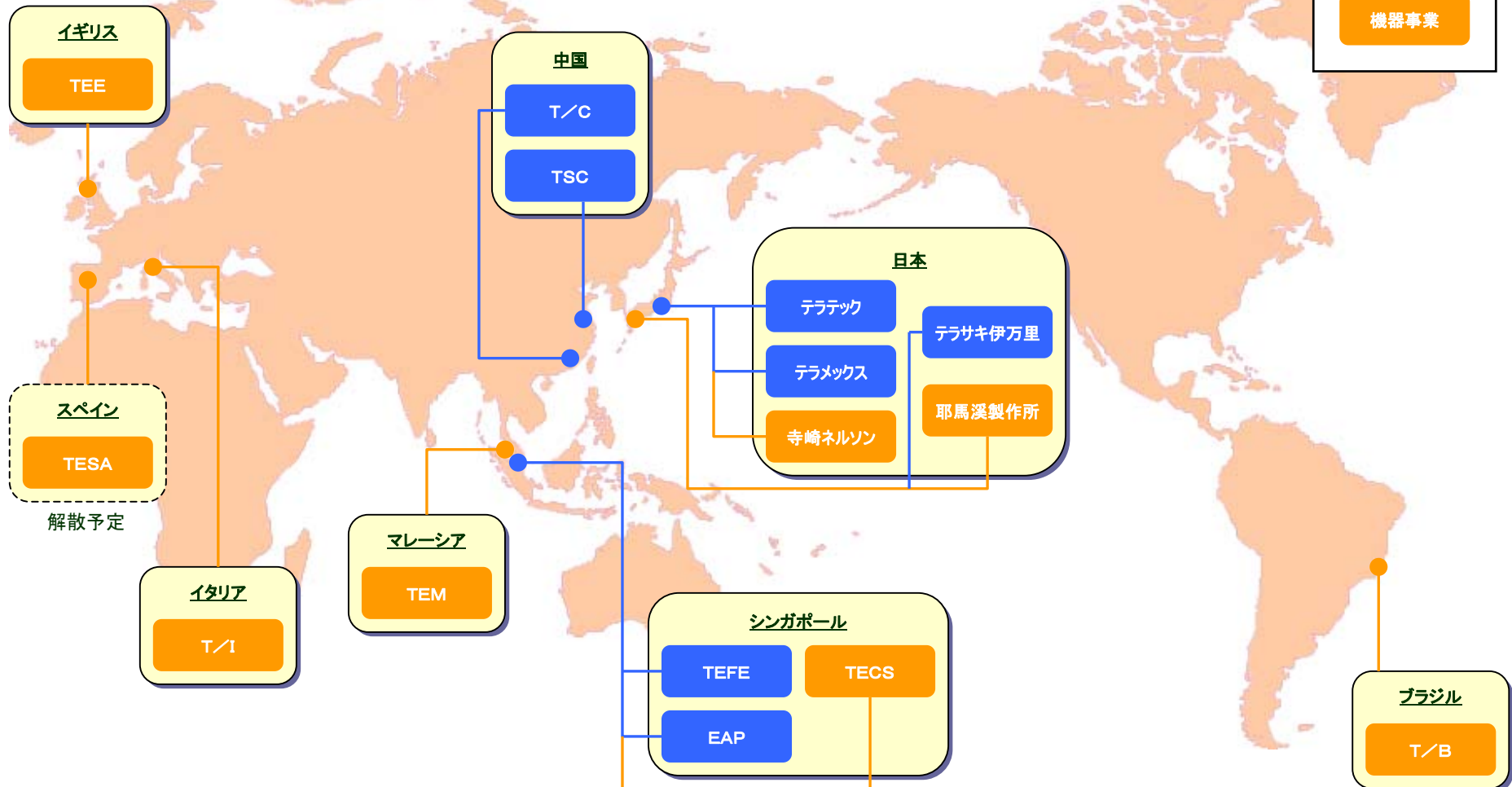
- 低圧遮断器
 - ・気中遮断器(ACB)
 - ・配線用遮断器(MCCB)
 - ・漏電遮断器(ELCB)
- 多線貫通システム(MCT) 等



連結子会社等の所在地

◆グローバルサービスネットワークの構築

平成22年9月末現在



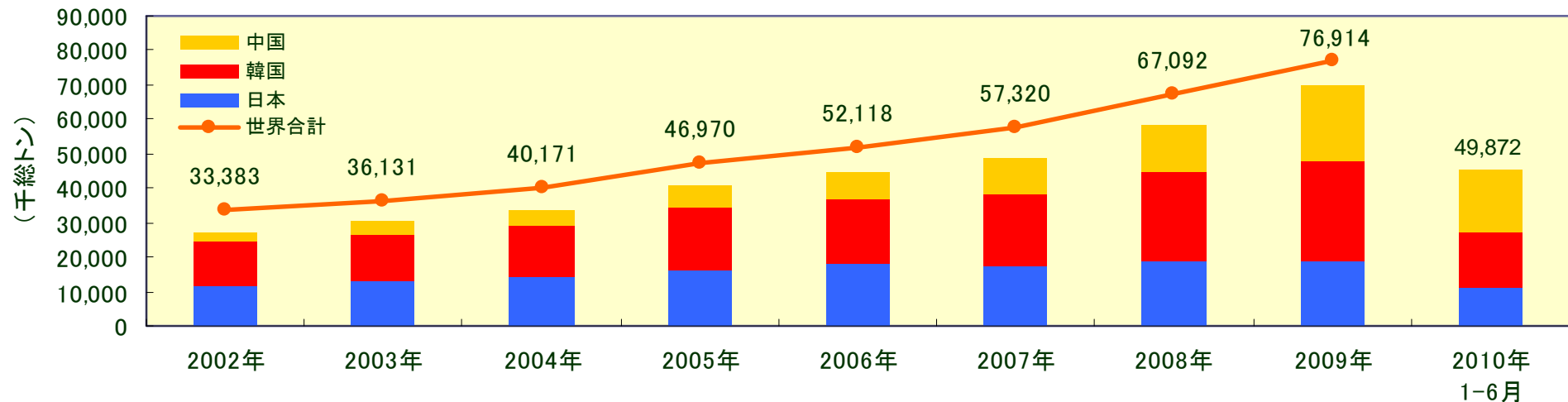
当社を表すキーワード



世界造船業界の動向(竣工量)

2010年1-6月での「世界の新造船竣工量」は
49,872千総トンとなり対前年比24.6%増

日本・・・316隻 11,223千総トン (対前年比 11.7%増)
韓国・・・266隻 15,751千総トン (対前年比 1.3%減)
中国・・・653隻 18,247千総トン (対前年比 83.8%増)



《参考》

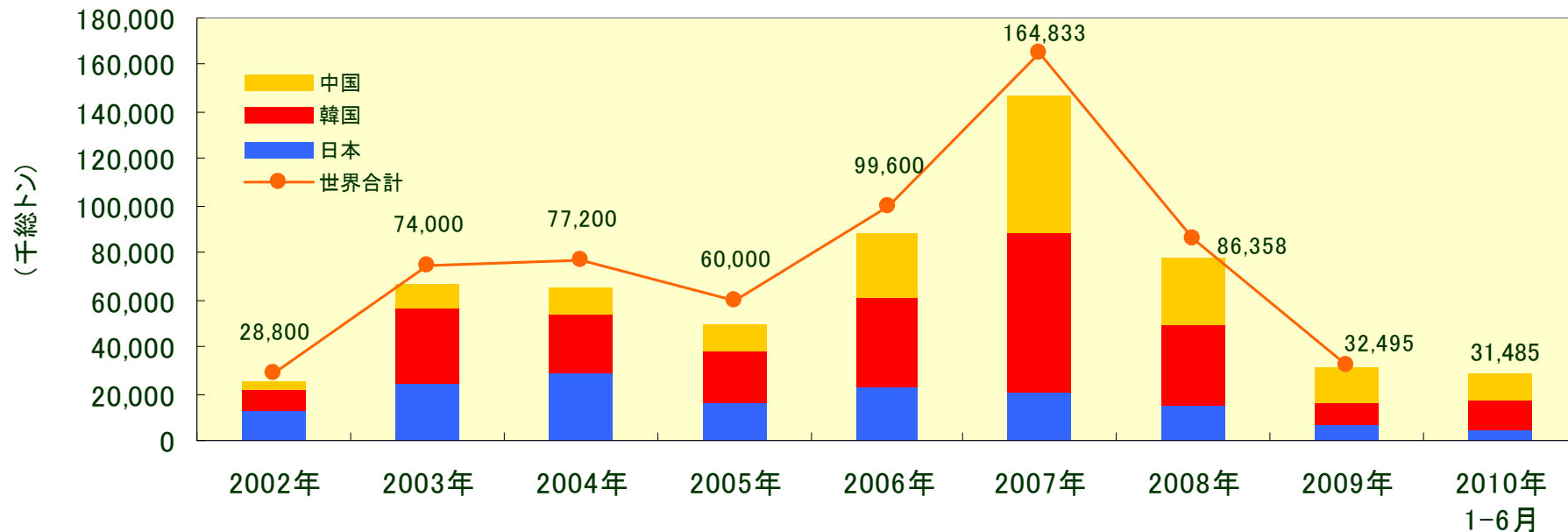
2010年予想(日本20,230千総トン, 韓国38,319千総トン, 中国54,951千総トン, 世界合計126,882千総トン)

2011年予想(日本20,800千総トン, 韓国41,732千総トン, 中国44,277千総トン, 世界合計118,373千総トン)

世界造船業界の動向(受注量)

2010年1-6月での「世界の造船受注量」は
31,485千総トンとなり対前年比453.7%増

日本・・・130隻 4,139千総トン (対前年比 26.8%増)
韓国・・・241隻 12,890千総トン (対前年比 1,258.3%増)
中国・・・317隻 11,157千総トン (対前年比 1,540.7%増)

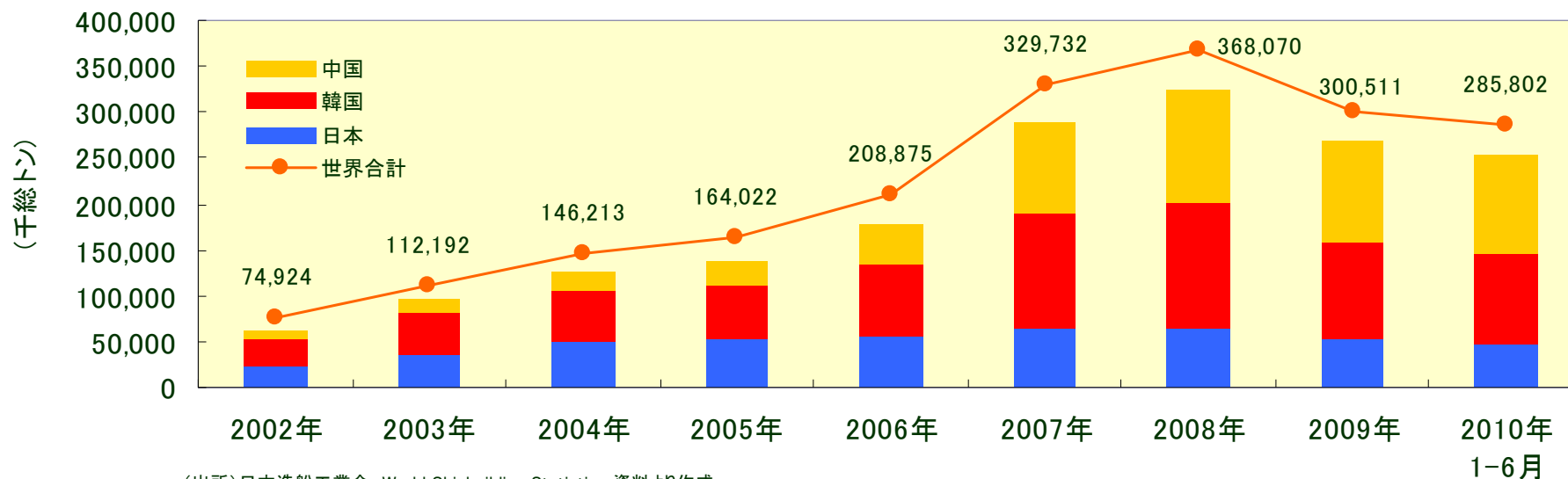


(出所) 日本造船工業会、World Shipbuilding Statistics 資料より作成

世界造船業界の動向(手持工事量)

2010年1-6月での「世界の新造船手持工事量」は
285,802千総トンとなり対前年比15.6%減

日本・・・1,163隻 47,080千総トン (対前年比20.4%減)
韓国・・・1,602隻 100,307千総トン (対前年比17.9%減)
中国・・・3,404隻 107,366千総トン (対前年比 8.7%減)



第2四半期(累計)連結決算のポイント

日本

売上高は前年同期を大きく上回り、収益面でも前年同期比で増益となる。

- コンテナ船等の大型船舶向けや陸電供給システム(AMP)等の船舶用システム製品は売上が増加
- 非常用電源設備・海外発電プラント物件向け及び医療用機器等の産業用製品が堅調に推移
- 機器製品は、船舶用向けが堅調に推移し、海外向けではオセアニア及びインド、パキスタン等の西アジア新興市場の成長により売上が増加

アジア

売上高は前期同期を上回り、収益面でも前年同期比で増益となる。

- 中国における船舶用システム製品の売上は、引き続き新造船竣工量が高水準で推移したことにより、前年同期比で増収
- 機器製品は、中国の船舶用向けに加え、マレーシア・インドネシア等の東南アジア市場において順調に売上が増加

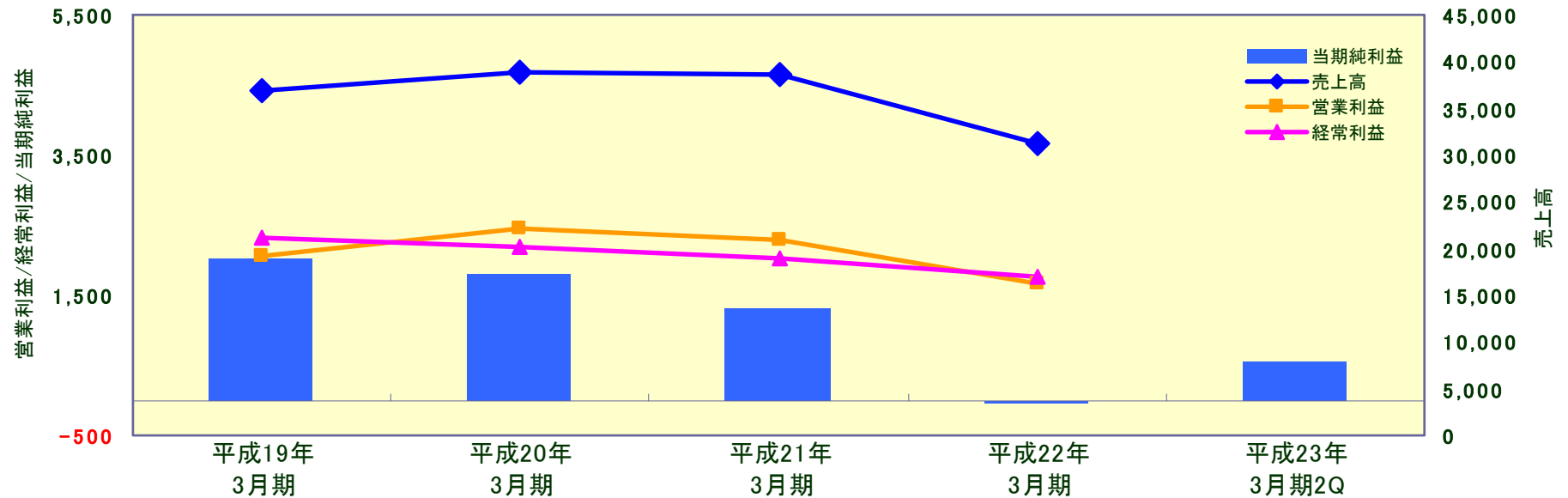
ヨーロッパ

売上高は前年同期比で減収となるも、収益面は前年同期比で若干の利益を確保する。

- 中近東方面へ機器製品の販売は好調に推移
- 欧州市場における機器製品は、公共施設向け需要等は堅調に推移するも、総じて民間設備投資関連の需要低迷が続いている状況

第2四半期(累計)連結決算概要

(単位:百万円)

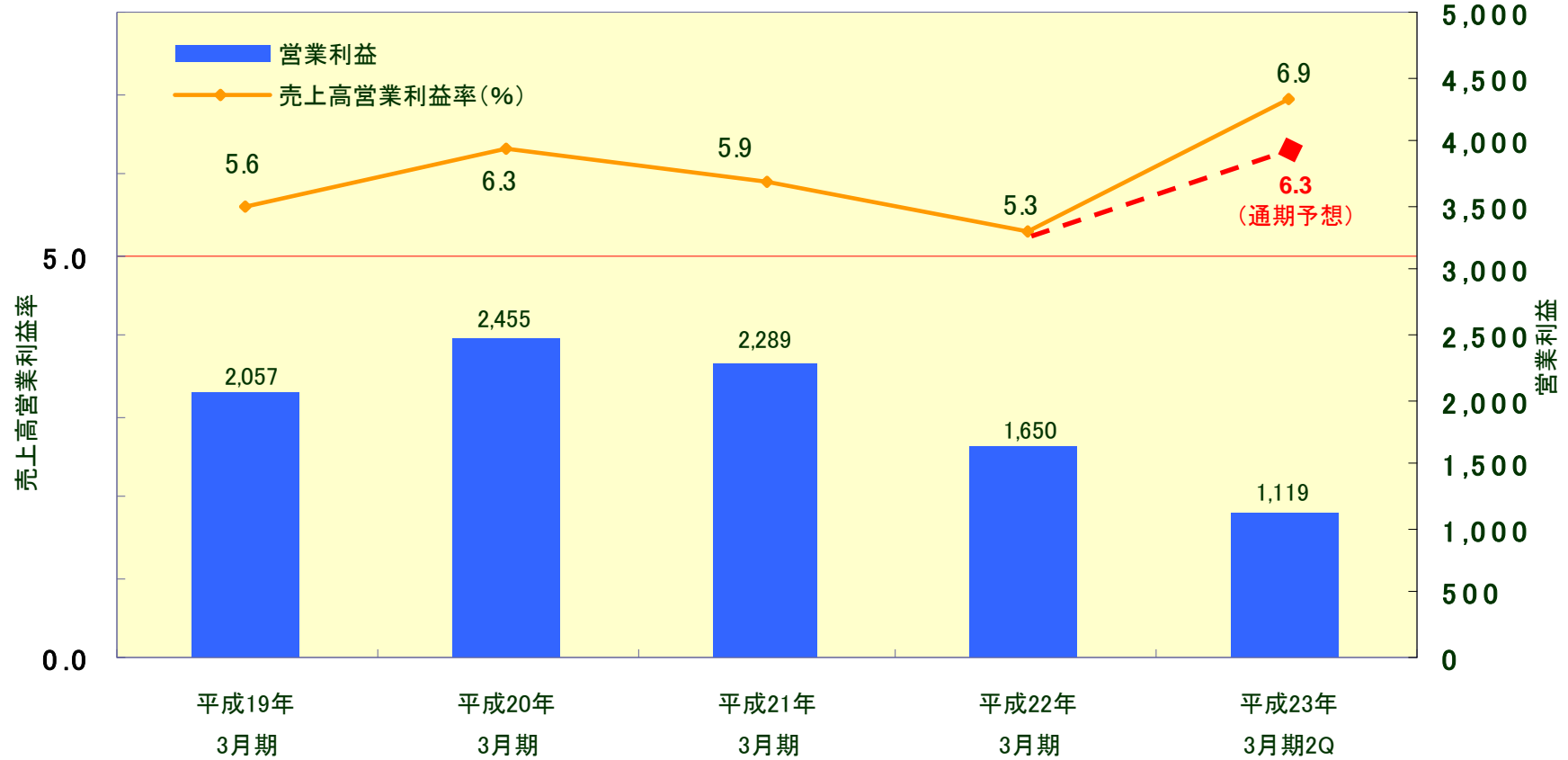


	平成19年 3月期	平成20年 3月期	平成21年 3月期	平成22年 3月期	平成22年 3月期2Q	平成23年 3月期2Q	前年同期 増減	前年同期 増減率
売上高	36,782	38,957	38,544	31,279	14,619	16,317	1,698	11.6%
営業利益	2,057	2,455	2,289	1,650	328	1,119	790	240.7%
経常利益	2,328	2,201	2,031	1,756	324	938	614	189.6%
当期純利益	2,021	1,809	1,294	△47	△112	539	651	—
1株当たり 当期純利益	(円) 167.46	(円) 138.86	(円) 99.37	(円) △3.65	(円) △8.61	(円) 41.39	—	—

連結営業利益・営業利益率の推移

(単位: %)

(単位: 百万円)



■ 当社は、売上高営業利益率5%以上を経営目標としております。

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	平成22年 3月期	平成23年 3月期2Q	増減
資産の部			
流動資産	25,631	25,447	△183
固定資産	9,562	9,308	△254
資産合計	35,194	34,756	△438
負債の部			
流動負債	14,184	13,915	△268
固定負債	5,877	5,616	△261
負債合計	20,062	19,532	△530
純資産の部			
株主資本	16,082	16,530	447
評価・換算差額等	△992	△1,344	△352
その他(少数株主持分他)	41	38	△3
純資産合計	15,131	15,224	92
負債・純資産合計	35,194	34,756	△438

現金及び預金 +756
受取手形及び売掛金
△1,064
棚卸資産 +196

有形固定資産 △74
投資有価証券 △98

支払手形及び買掛金
+282
未払費用 +170
短期借入金 △320
事業整理損失引当金
△333

長期借入金 △257

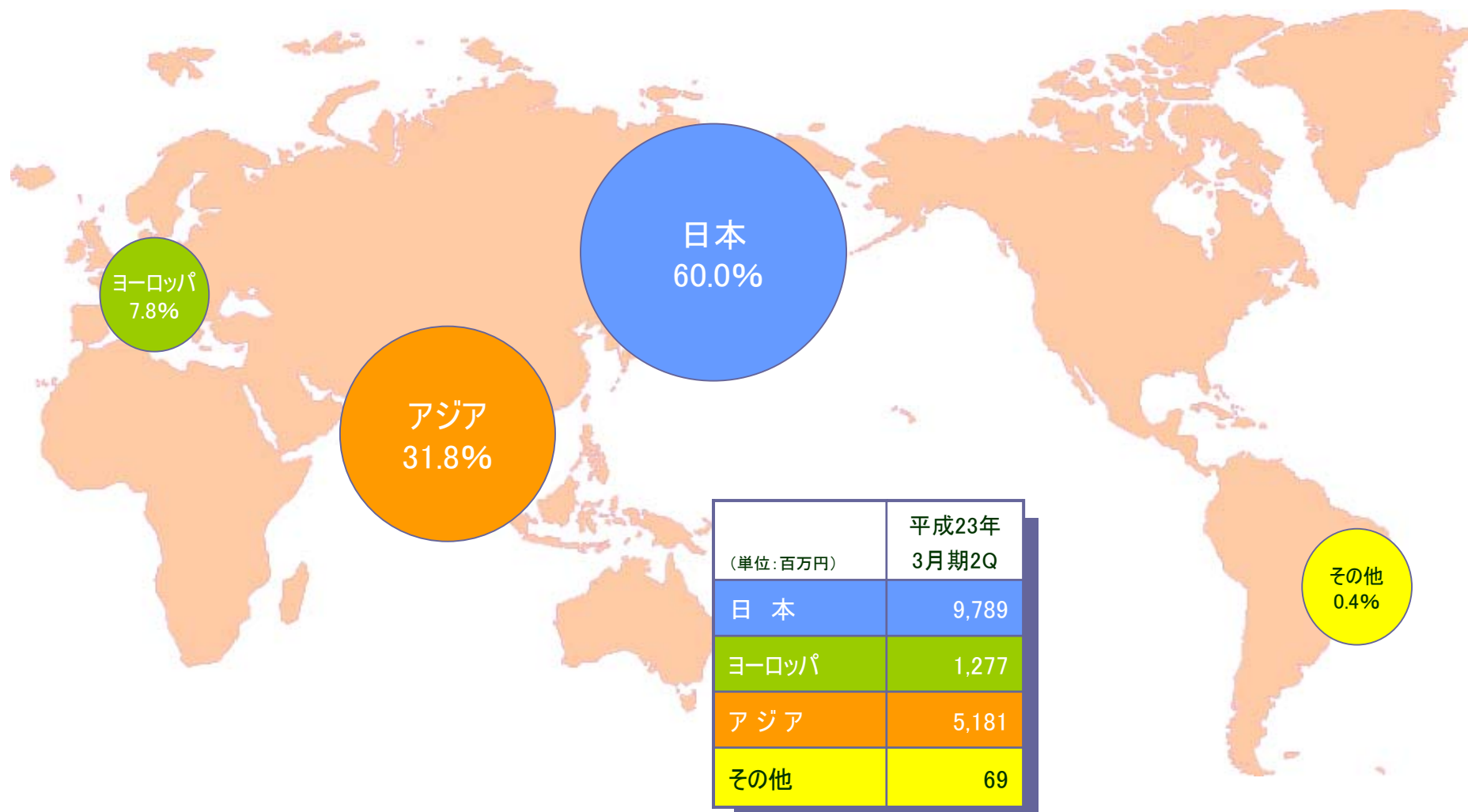
利益剰余金 +448

主要連結財務指標の推移

	平成19年 3月期	平成20年 3月期	平成21年 3月期	平成22年 3月期	平成23年 3月期2Q
EPS (1株当たり当期純利益)	167円46銭	138円86銭	99円37銭	△3円65銭	41円39銭
BPS (1株当たり純資産)	1,041円45銭	1,133円91銭	1,155円97銭	1,158円21銭	1,165円53銭
自己資本比率	35.8%	39.6%	43.3%	42.9%	43.7%
ROE (自己資本利益率)	17.0%	12.8%	8.7%	△0.3%	3.6%
有利子負債	9,218百万円	8,070百万円	7,386百万円	6,315百万円	5,737百万円
DELシオ	67.93%	54.63%	49.04%	41.85%	37.78%

■ 当社は、自己資本比率40%以上を経営目標としております。

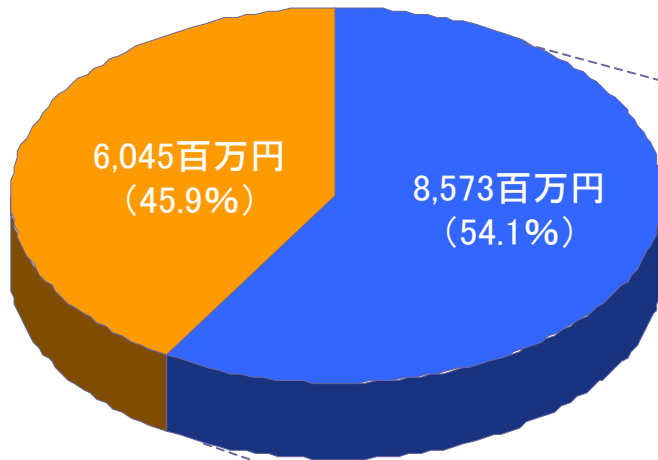
所在地別セグメント 連結売上高



製品別 連結売上高比率

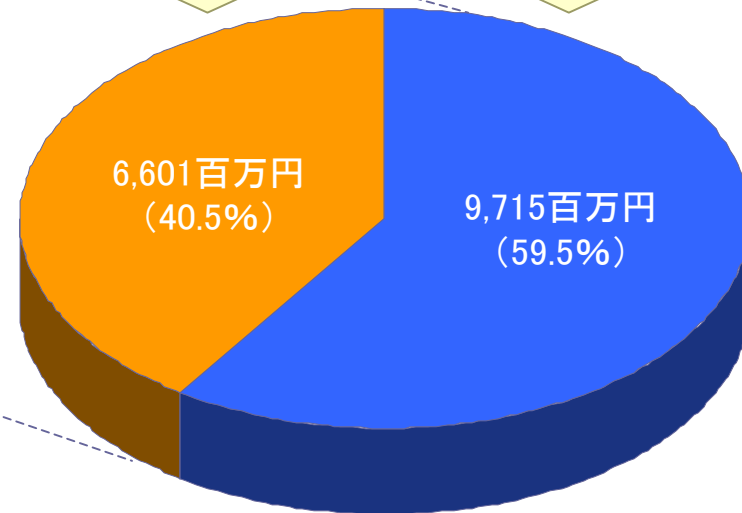
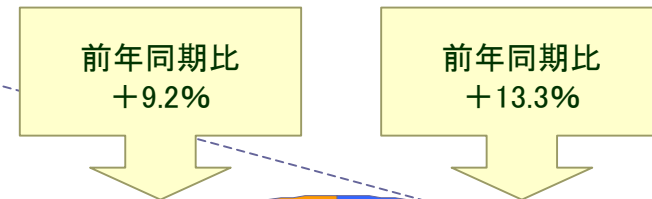
平成22年3月期2Q累計期間

合計:14,619百万円



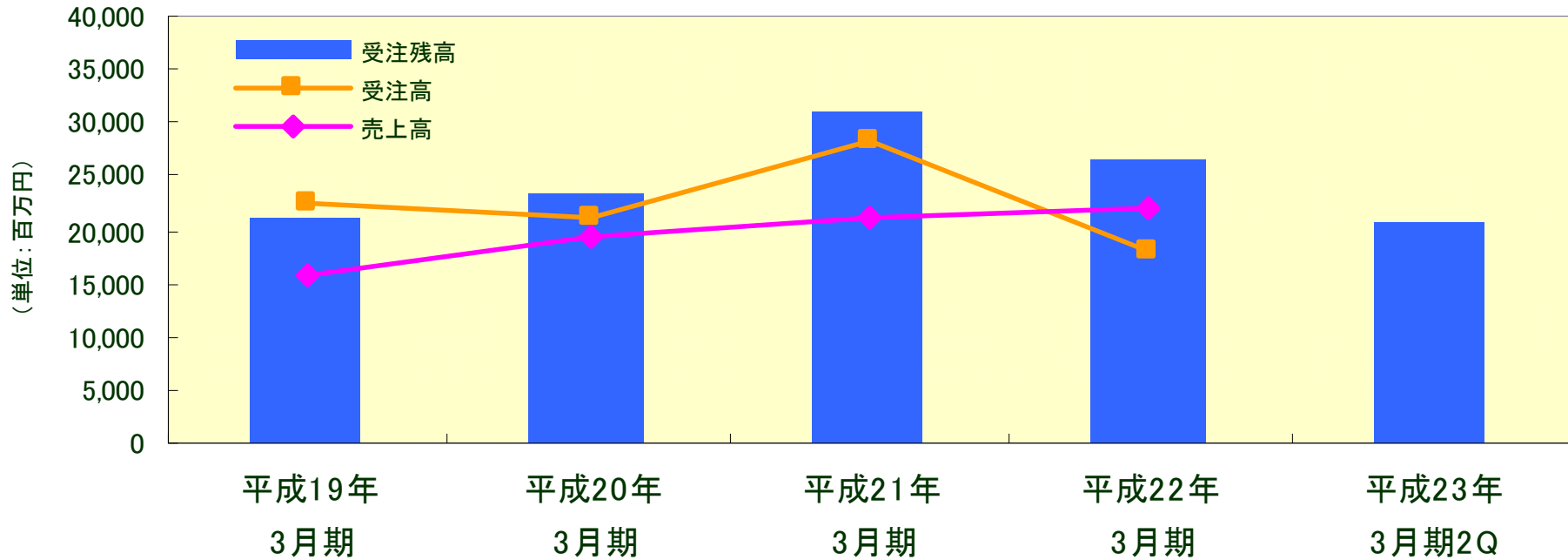
平成23年3月期2Q累計期間

合計:16,317百万円



- システム製品 (配電制御システム等)
- 機器製品 (低圧遮断器等)

システム製品 連結売上・受注・受注残推移



(単位: 百万円)

	平成19年 3月期	平成20年 3月期	平成21年 3月期	平成22年 3月期	平成23年 3月期2Q
受注残高	23,394	30,837	26,731	23,530	20,726
受注高	21,263	28,535	17,758	15,706	6,912
売上高	19,162	21,091	21,864	18,907	9,715

◆造船業界では、海運市況の低迷化が続いたことにより新規受注が大きく減少しておりましたが、今年度に入り新造船の受注が再開されたこと等から、当社の受注高も若干の回復傾向となりました。

平成23年3月期 連結業績予想

当社グループを取り巻く下期の国内・海外の市場動向は、主要顧客である造船業界において、新造船の受注が上向いてきました。しかし、民間設備投資においては、一部の市場で回復が見られるものの、国内向けを中心に依然伸び悩みの影響が続くものと予想しております。下期以降も円高(ドル安)や銅材料等の価格上昇の懸念要素はありますが、5月14日の公表値(下表)の達成を目指してまいります。

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
連結 (増減率)	30,420 ($\Delta 2.7\%$)	1,920 (16.4%)	1,880 (7.0%)	1,120 (-)	85円96銭
単体 (増減率)	20,130 (0.1%)	240 (-)	600 (897.9%)	350 (-)	26円86銭

業績予想の前提

1米ドル:90.00円、1英ポンド:130.00円、1豪ドル:75.00円、1ユーロ:120.00円 (期初為替レート)

1米ドル:82.00円、1英ポンド:125.00円、1豪ドル:75.00円、1ユーロ:105.00円 (下期為替レート)

連結業績予想に係る主な要因

連結通期業績の見通し

システム「船舶用」 製品

中国における新造船竣工量が順調に推移し、隻数ベースでは前年度を上回る見通し

- LNG船等の大型船向け(日本,韓国)は引き続き低迷するも、バルクキャリア等の中小型船向け(中国)は堅調に推移すると予想
- 船員教育用エンジンシミュレータやオフショア関連市場等への営業強化
- 停泊中船舶への陸電供給システム(AMP)の拡販

システム「産業用」 製品

ビルや工場向け等の一般配電制御システム等は低水準が続くものの、医療関連機器が堅調に推移する見通し

- 海外インフラ関連向け等の需要が鈍化すると予想
- エンジニアリングを含めた鉄道施設向け物件での売上, 利益の確保
- 医療関連機器の開発技術と生産性向上による受注, 売上の拡大

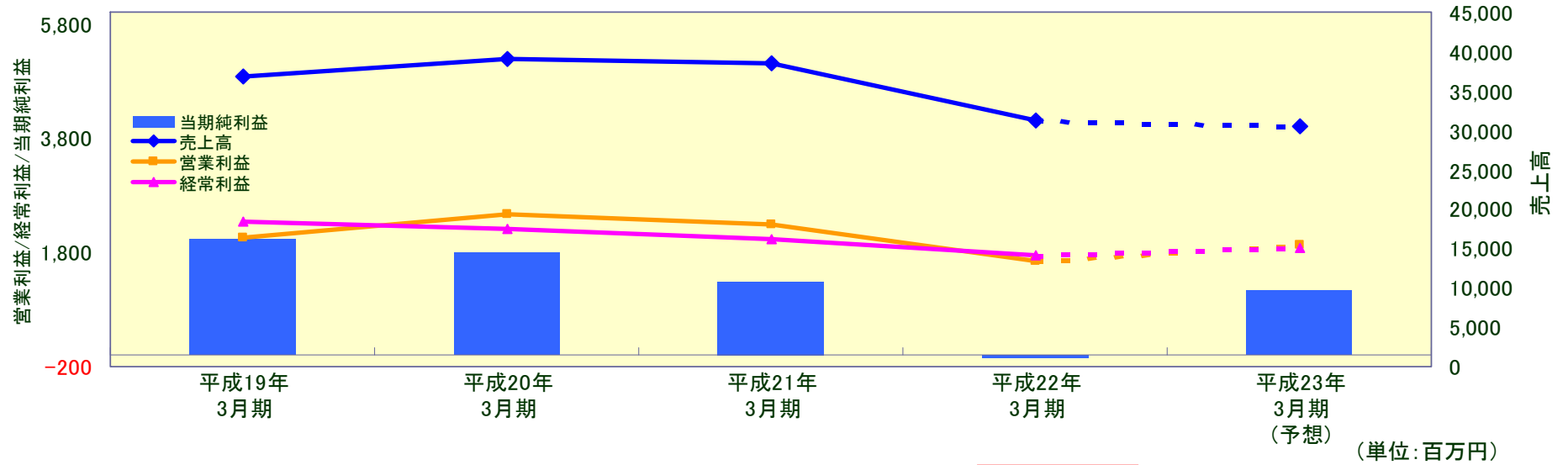
機器(ブレーカ) 製品

船舶用向け及び一部の新興国向け等の需要は回復傾向と予想するも、日本や欧州市場等では引き続き伸び悩む見通し

- オセアニア、東南アジア、西アジア等ではドル安の影響はあるものの需要は順調に推移すると予想
- 価格競争力のある新型遮断器等の販売促進による売上の拡大
- 環境、省エネ関連市場に対応した直流ブレーカ等の製品拡販

円高(ドル安)傾向が依然続く中で、為替変動による影響 及び原材料(銅材・鋼材)の高騰が懸念材料ではありますが、さらなる原価低減活動や為替中立型を目指し改革・改善を推進します。

連結業績推移と通期予想



	平成19年 3月期	平成20年 3月期	平成21年 3月期	平成22年 3月期	平成23年 3月期 (予想)	前期 増減	前期 増減率
売上高	36,782	38,957	38,544	31,279	30,420	△859	△2.7%
営業利益	2,057	2,455	2,289	1,650	1,920	270	16.4%
経常利益	2,328	2,201	2,031	1,756	1,880	124	7.0%
当期純利益	2,021	1,809	1,294	△47	1,120	1,167	—
1株当たり 当期純利益	(円) 167.46	(円) 138.86	(円) 99.37	(円) △3.65	(円) 85.96	(円) 89.61	—
1株当たり 配当金	(円) 12.00	(円) 12.00	(円) 10.00	(円) 7.00	(円) 10.00	—	—

経営ビジョン

船用市場における配電制御システムで
世界のリーディングメーカーとして発展する

産業用市場の特定市場向け配電制御システムで
スペシャルメーカーとして発展する

(環境市場・海外プラント市場・医療用機器市場 他)

低圧サーキットブレーカ市場で
世界トップ5のシェアをとる



国内初の船舶への陸上電力供給システム 及び 世界最大級の太陽光発電システムを納入



太陽光発電システム (パネル)



陸電供給システム (AMP,固定型)

詳細はこちらのURLをご覧ください→http://www.terasaki.co.jp/tj/02guide/senpaku_press1008.html